

デザートローズ (砂漠のバラ)

DESERT ROSE

テ

この砂漠のバラは、石膏がもとになっており、砂の微粒子が含まれて形成されている。

砂漠のバラというのは鉱物名ではなく、石膏もしくは重晶石が結晶化されるときに、花びらが集まったような形状になったものの通称である。

砂漠か、あるいはかつて砂漠だったような乾燥した場所でのみ産出しない。

通常、石膏は白色だが、砂漠のバラが褐色であるのは、内部に褐色をした砂の微粒子を含んでいるためである。



単斜晶系

DATA FILE

名 前	DESERT ROSE (デザートローズ) / 砂漠のバラ
化学組成	$\text{CaSO}_4 \cdot 2\text{H}_2\text{O}$ と砂の粒子
色	褐色
光 沢	ガラス光沢、真珠光沢
蛍 光	帯白色
条 痕	白色
劈 開	完全
断 口	不平坦
硬 度	2
比 重	2.3

表面には、砂粒がついているが、割ってみると内部は平坦で、透明だ。また、完全な劈開が見られる。

※ここでは石膏の「砂漠のバラ」のデータを掲載しています。

石膏と重晶石

砂漠のバラは、ミネラルをたくさん含んでいる砂漠の湖や沼で、鉱物の成分が乾燥して結晶化されるときにつくられる。しかし、なぜバラのような形になるのかは、いまだ解明されていない。

そのほとんどは石膏からできているが、重晶石がもとになっているものも存在し、これらは外見が非常によく似ている。しかし、石膏のものは硬度が2と、指の爪で傷をつけることができるほどやわらかいが、重晶石のものは2.5～3.5と硬い。また、比重でも区別することが可能で、石膏のものが2.3であるのに対し、重晶石のものは4.5と重い。



▲巨大な砂漠のバラ。アルジェリア産。



▲サハラ砂漠で見られる砂漠のバラ。

主な産地



アメリカ



アリゾナ州やニューメキシコ州などで見つかっている。

チュニジア

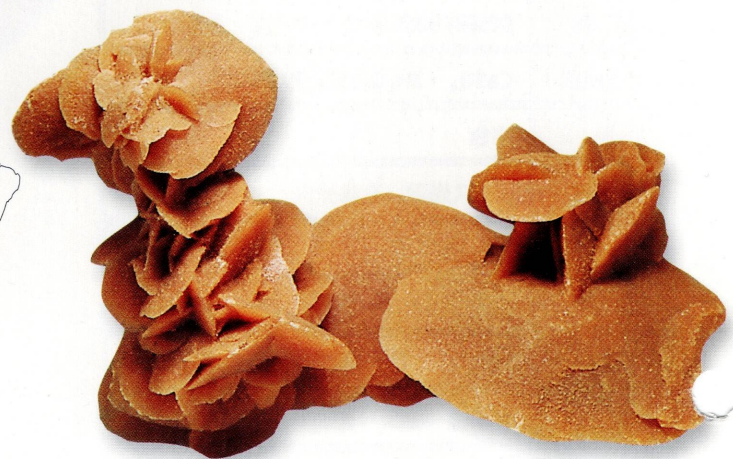


アルジェリア



サハラ砂漠のワルグラ、クエド、トゥーグルド周辺などで産出する。

モロッコ



▲アルジェリアで産出した砂漠のバラ。